

## 第1回「福島県イノベーション・コースト構想の 具体化に関する県・市町村検討会議」議事概要

○日 時：平成26年11月28日（金） 13：00～14：20

○場 所：福島県庁西庁舎12階講堂

### 1 開 会

### 2 挨 拶

#### 【福島県企画調整部長】

- ・急な開催に関わらず、ご参加いただきありがとうございます。
- ・イノベーション・コースト構想は浜通りの力強いエンジンとなるもの。
- ・国も11月上旬に3つの個別検討会を立ち上げ、更なる詳細設計をしているところ。
- ・国の検討分野以外の福島サイドとしての考え方や構想の具体化を加速させていくため、この検討会議を設置した。
- ・浜通りの帰還促進、世界が瞠目するような復興を成し遂げるため、しっかりこの構想を具現化するようにやっていきたい。
- ・この検討会議では、率直な意見交換をしたい。

### 3 協議事項

（1）イノベーション・コースト構想の具体化に向けた検討体制について  
資料1～2を【事務局】から説明

（2）イノベーション・コースト構想の検討状況について  
資料3～6を【事務局】から説明

（3）出席者からの主な御意見

#### 【南相馬市】

- ・イノベーション・コースト構想への対応は、単一の市町村では困難。
- ・連携して一つ一つ成果として具体的な形にしていくことが、各市町村が望んでいることだと思う。
- ・各市町村の調整について、県の指導力を発揮してやっていただきたい。
- ・自治体のポテンシャルをうまく引き出してもらいたい。

【福島県企画調整部長】

- ・国際廃炉研究センターは文科省で概算要求されているものがある。
- ・できるところからやっていく必要があると考えている。
- ・国の3つの個別検討会では自ずと場所の議論が出てくる。
- ・皆さんの意見を聞いて、県で広域調整をしっかりやっていく。

【双葉町】

- ・避難地域を抱える自治体は、この構想に非常に期待している。
- ・県と市町村が連携して、国に、より具体的な目に見える形のものを打ち出させていく必要がある。
- ・各市町村間の調整については、県の役割に期待。
- ・国策として進めるもののほか、県独自の研究プロジェクトについても会議の中から構想してもらえればありがたい。

【会津大学】

- ・会津大学としても積極的に関わっていきたい。
- ・ロボット産業の場合、ソフトウェアの開発に貢献できる。
- ・民間企業と組んで共同研究ができればと思う。

【福島大学】

- ・全県域に波及するような、既存産業の振興に活かしていく施策が必要だと考える。
- ・それに併せて、福大が様々な調査検討で関われる領域がでてくるかと思う。
- ・実際に現場で関わっていく産業人材育成を具体的に検討していく必要がある。

【内閣府原子力災害現地対策本部】

- ・色々な種類の拠点があるが、国の決定で進められるものと、そうでないものがある。
- ・放射性物質分析センター、モックアップ施設等の予算がついて動き出しているものは、国として早急にやらなければいけないもの。
- ・国際産学連携拠点、スマート・エコパーク、ロボットテストフィールドについては、必ずしも国の方で全てを決めて持ってくるような類いのものではない。
- ・企業がビジネスとして回していけるかが重要。その時に必要となる予算・

- 制度を含めた支援策を国・県・市町村を含め議論をしていくことが必要。
- ・国の予算で永続的にやっていくのは難しいと思っており、関係者が集まり、役割分担を検討して行ければと思う。
  - ・エネルギーと農林水産分野は、浜通りでは個別具体のプロジェクトの形にはなっておらず、この検討会議で議論いただけるのはありがたい。
  - ・この検討会議から具体的な提案をいただき、国の方の推進会議に反映させるなど、一緒に進めて行く。
  - ・(資料3) イノベーション・コースト構想の柱以外にも、新しいアイデアがあればご意見いただきたい。

【福島県農林水産部技監】～資料7を説明～

【福島県企画調整部次長（地域づくり担当）】～参考資料3を説明～

【事務局】

- ・県と市町村が集まる意義として、例えば南相馬市や川内村で建設されている植物工場やスマートコミュニティのF S調査を行っている市町村などがある。それぞれの知見を披露していただきながら、浜通りが全体として前に進んでいけるように、知見の水平展開、横展開ができれば、県と市町村が一堂に会するこの検討会議の趣旨、意義が深まっていく。

【南相馬市】

- ・イノベーション・コースト構想の実現が地域の今までの産業に根付くのかということも考えなくてはならない。
- ・地域の既存産業の振興と上手く関連づけられるような誘導を図りたい。
- ・そういった調整も含めて、様々な知見や意見を協議するような検討会議になっていけばよい。

【福島県企画調整部長】

- ・既存産業の振興といった視点を持ってやっていくということは大事であり、そうならないと意味がない。
- ・報告書の中には、チャレンジしてみる価値がありそうなものも結構ある。
- ・これを機に各市町村さんの方でもどう復興を進めていくのか担当セクションと議論していただくなどして、この場で率直な意見交換をしていきたい。
- ・会議の場で言うのがためられるようであれば、電話一本入れていただ

くなど、そういった関係性を築いていければ良い。

**【事務局】**

- ・ 次回は12月下旬か1月開催の予定。
- ・ 各分科会や国の個別検討会の検討状況を報告し、検討を深めることとしたい。